

事業計画書の内容		実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考			
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を摘要にまとめて記入)									H21	H22	H23
1 施設の設置目的を踏まえた総合的な管理運営方針													
誰が主役となって、笑顔と幸せになれる公園づくり (湘南ハートフルパーク)	◎誰もが主役になれる公園づくり ○地域や県民との協働、連携による公園づくり ○地域活動やコミュニティ形成の場となる機会の増 ○企画段階から県民や地域が関われる公園まわりの仕組みづくり ○芝生広場を活用した市民の発表できる場づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○イベントや体験プログラムは、引き続き地場団体等と連携して実施。 ○市民の手による持込みイベントについては、実行委員会の育成も兼ね、企画から運営までバックアップし、今年度は4つのイベントを開催した。また、昨年度から始めた持込イベント主催者の合同会議を今年も開催し、各自のイベント紹介や相互協力の可能性等について意見交換と交流を図り、ネットワークづくりの機会を設けた。 ○芝生広場ステージはイベント時での発表や「地域包括支援センター事業の「こうえん体操」事業の場として提供中。 ○週末の利用促進を図る一環として、地域の団体や人材の協力を得て、文化、芸術、健康等をキーワードとした市民参加型の利用プログラム「かいひんFRIENDS事業」を試行。	●補足資料 (ユニバーサルカヌー)参照				
	◎人に優しく笑顔になれる公園づくり ○ユニバーサルカヌーを拡充し、より多くの県民の利用と参加を図る ○障害の有無に関わらず公園を利用し、参加できるプログラムの充実 ○ユニバーサルな公園として広く県民に発信 ○海を利用するサーファーに優しいサービスの提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○障害者と障がい者が同一空間で体験できるユニバーサルカヌー体験会は、26年度末で延べ3万人を超え、客実に定着してきた。また、当体験会に満足しない参加者のためにプールを活用したカヌースクールも参加者が増えてきており、地域のカヌースポーツに寄与するまでになってきた。今年、当体験会活動が「キッズデザイン賞」を受賞した。 ○さらに、当体験会を知った社会福祉協議会などから障がい者のカヌー体験会開催協力の依頼も増え、障がい者の来園機会増にも繋がっている。 ○メディアや情報誌等の媒体を積極的に活用し、公園イベント等の情報発信を行った。 ○引き続き、ライブカメラを設置し、公園前の海浜状況を公園HPで情報提供中。						
	◎誰もが楽しく快適な公園づくり ○快適に利用できる芝生広場の提供と花のあふれる公園づくり ○施設の維持管理、安全管理の徹底 ○利用者の視点に立った安全度と満足度の高いプールや交通公園等の管理運営	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○(新)改修工事により整備された芝生広場の育成管理に努めた。また、交通公園に設置された「ちびっこスライド」は事故防止のため、自由使用とせず、スタッフを配置して子供たちの利用指導と安全確保に努めた。 ○積極的に繁殖するメリケンソウ対策として、引き続き、芝張替え、ナンラAG(天然材料除草剤)の散布、人力草取りを実施。今年も湘南工科大の協力も得て除去を行った。 ○草花による遊歩道づくりを継続中。「水仙ガーデン」については生育不良な植付箇所の改善を図るとともに品種を69種に増やし充実を図った。 ○公園リフレッシュ計画に基づき、今年度はプール改修工事とプールサイドに日除け施設を増設され、工事中は来園者の安全対策に県と連携し取りんた。未改修箇所については、不具合箇所の早期発見と修繕に努めた。(今年度も施設不具合による事故はなし) ○県と相模湾沿岸13市町合同の津波避難訓練に参加予定だったが、台風接近のため訓練自体が中止となった。(2月に行われた藤沢市の津波避難訓練には公園も参加) ○交通展示館の展示物の老朽化が進み、入館者が減少している。特に主要施設のスーパーライダーは老朽化のため23年6月から運転中止中。県にリニューアルを要望しているが未定のままである。 ○引き続き、毎朝のゴミ清掃を始め、草刈草刈等は県基準以上に実施し快適で美しい公園環境の提供に努めた。 ○県による放射線量測定調査の結果、測定値は特に問題なし。						
利用者の平等な利用の確保	○利用受付案内、苦情、意見、要望等に対する親切丁寧な対応 ○職員研修による意識向上等	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○利用者に対しては親切な対応に心がけるとともに、新規採用者の接客研修や安全管理研修等を通して、職員の公園管理運営に係る意識の向上と技能向上に取り組んだ。						
利用者や地域住民等に配慮した管理運営	◎県民や地域住民等の意見を反映した管理運営 ○ご意見箱、WEB投稿、アンケート等の活用 ○公園連絡協議会を設置し意見要望提案等を業務改善に反映 ○地域の意見要望は、自治会・町内会との連携の中で掌握	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○常設アンケート箱や公園HPでのメール投稿など、苦情要望の問合わせができる体制としている。 ○町内会連合会や市民センター、商工会議所、大学、地場団体等で構成する公園運営協議会を開催(2回/年)し、公園の事業計画と実績報告や管理運営に関する意見交換を継続中。 ○市民センターの協力により、毎年、地域の自治会町内会連合総会において、公園の年間事業計画等を説明する機会を得ており、その中で、自治会長からの意見要望を把握している。						
利用者や地域住民等に配慮した管理運営	◎利用者や地域に信頼される管理運営 ○平等利用、利用者の声を大切にした管理運営 ○トイレなどの清掃や器具の確実な点検 ○地域連携による管理運営やイベント等の開催を通じ地域に信頼され愛される公園を目指す	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○イベントや日々の管理でのコミュニケーション、利用満足度調査等を通して得た管理運営に係る情報は、スタッフに提供し、改善に反映するよう努めている。今年度もプールに日除けが少ないことから、プール最盛期に所有テントをプールサイドに設置し日除け場の増を回るとともに、満足度の向上に努めた。 ○悪戯によるトイレの破損、落書き等は発見次第修復。また、イベント時は屋外トイレの汚れ状況等を確認し必要であれば清掃し、トイレ利用環境の維持に努めた。古い遊具については、部材交換や補修を行い安全確保に努めた。 ○台風や強風後は公園外周の市道に松葉がたまり、道路排水の不良や歩行者に迷惑をかけるため、引き続き、路上の松葉の清掃を実施し地場道路の環境維持に努めている。 ○隣接田地等の住環境への影響緩和や倒木による事故の未然防止を目的に、昨年度から県と協働で毒手した公園外周松木の樹高抑制剪定と関係は引き続き継続。 ○メリケンソウ対策箇所を点検し、草取り、ナンラAG散布により、除去に努め、芝生広場の利用に支障が無いよう努めた	●補足資料 (ユニバーサルカヌー)参照					
	◎地域と連携した防災対策 ○広域避難場所に指定されていないが利用者の安全確保と適切な避難誘導ができるよう準備 ○災害発生後の速やかに復旧処置と安全確認後に早期の利用再開に努める	計画通り実施	計画通り実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	○(新)防災備蓄用倉庫を設置し、分散保管していた防災用備蓄品を一カ所に集約した。 ○藤沢市の津波避難訓練に引き続き参加するとともに、今年度は、協会全体で、勤務時間外での大規模地震発生を想定した、緊急集合訓練と衛星電話による通信訓練を実施した。 ○津波発生時のサイクリングボランティアの迅速な避難が大きな課題であるため、今年度から訓練回数を増やし、月1回とした。 ○台風による被害については、一部枝折れや松葉等の散乱があったが、大きな被害は無し。落葉や支障等については応急措置や清掃を迅速に実施し、通常の公園環境の回復に努めた。						
環境に配慮した管理運営	○省エネルギー対策 ・グリーンスクリーンの導入による夏季エアコンの節電と利用者への普及啓発 ・照明節電、節水、駐車場でのアイドリングストップ要請	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○夏季の節電対策では今年もプール設備運転運営方法の工夫やエアコン温度設定など節電に努めた。 ○駐車場においては、アイドリングストップ要請の看板を設置中。 ○環境負荷の軽減の一環として(新)電気自動車を導入した ○イルミネーションイベントは、節電に配慮し、クリスマス期間に短縮して実施。						
	○ゼロエミッション対策 ・間伐材等のチップ化による植栽マルチング材等への活用 ・ゴミ持ち帰り運動の推進、ゴミの分別処理、事務用品のグリーン購入	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○放置ゴミやイベント時に発生するゴミは分別処理を継続。 ○強風で落ちた枯松葉をチップで細かく裁断し水仙ガーデンのマルチング材として使用中。 ○引き続き、県植物誌調査会藤沢グループと松林内に生育するハマカキランの保全に努めた。 ○協会本部事業として「資源リサイクル事業」を立ち上げ、独自予算で簡易炭化炉を購入 ○協会独自予算で環境対策及び資源リサイクルに必要なウッドチップ、薪保管庫、電気自動車を購入した。 ○引き続き、ペットボトルキャップを回収し、世界の子供達にワクチン提供活動に協力中(26年度回収量: 150kg)						
	○環境教育 ・海浜植物観察会、海浜植物の種まき活動 ・普及啓発PR活動	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○公園まわりの海浜植物のパネル展示と保全活動を紹介するとともに、今年は子供たちに興味を持ってもらうための、海浜植物めりえあそびを実施。 ○芝生広場のメリケンソウや自然池のオオフサモなど外来種を除去 ○カラス対策を継続						

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容		実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考					
区分	提案項目	提案の具体化方針 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)								H21	H22	H23	H24	H25	H26
2 本公園の管理に向けた参加意欲及び抱負等											補足資料				
参加意欲、抱負等がわかる具体の提案	《公園利用の更なる促進》 ○季節ごとの公園イベントの充実・拡大 ○公園を活用した地域団体や県民主催の持ち込みイベントの支援・協力 ○開散期の施設・期間の利用促進 ・利用動向に合わせた有料施設料金の検討 ・平日や夏休み期間前後のプール利用促進 ○本公園を起終点とした「湘南ツーリング」の実用化検討	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○四季ごとの大型イベントは地域団体等の協力のもと、計画通り実施したが、この日は初日は雨天のため1日中止となった。また、翌日も雷雨接近のため、開催時間を短縮した。 ○開散期の施設及びプール閉鎖期間の利用促進 ・子供伝大会は、今年から参加チームの保護者も走路管理ボランティアとして運営に協力してもらう方式に改め、皆で子供達を見守る大会とした。 ・イルミネーションイベントは、昨年を上回る1万7千人以上の来場があり好評であった。 ・水の事故防止を目的とした「水辺の安全を一緒に学ぼう」はプログラムの充実を図り、開催時間も延長して開催。また、プール閉鎖後の水のきれいな時期にカヌースクールを開催。また、モデル撮影会場として提供し、閉鎖期の活用を図った。 ○春季と秋季における週末の利用促進策として、カヌー体験会に加え、ふわふわパークを土日、ウオーターパーク（水上バルーン体験）を土曜日に開催。 ○消費税引き上げに伴うプール利用料金の改定に当たっては、条例設定料金以下の料金とするとともに回数券の見直しを行い、利用者が購入しやすい枚数と金額に見直した。また、プール期間中はアクアビクスなどのイベントや模擬店の出店、日除け不足の対策として公園所有のテントを多数設置するなどプール利用者のサービス向上に努めた。 ○今年度は4つの持込イベントをいひんSUN-DAY事業として企画段階から支援協力し実施。そのうち、「Love Shonan ONE CALIFORNIA DAY」は、悪天候のため中止せざるを得なかった ○花の庭花壇の植付や中間管理をボランティア団体や日本ガーデニングデザイン専門学校生徒の協力を得て実施。 ○関係機関や地域等の連携 ・交通公園においては、引き続き県警事業の「チリリンスクール」を市や交通安全協会等と連携して実施したほか、歩行者信号機が県によってアトムのイラスト信号機に取り替えられ、大きな影響があった。また、園内の小田急電車を使用した警察、市、消防局合同のテロ対策訓練に協力							●11号補足資料参照
	《県民や地域との輪を広げ公園づくりを推進》 ○イベント等は、地域団体や協力者の輪を広げ企画段階から一層になって実施 ○親子3世代が触れ合う機会づくりとして「辻の盆」を実施 ○公園花いっぱい運動等を通じ、誰もが気軽に参加できる公園	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○バリアフリーモデル公園として整備された公園であり、障がい者の方も利用しやすいよう、施設管理には十分留意するとともに、有料施設料金の減免や車いすの常備など努めている。 ○今年度も茅ヶ崎市社会福祉協議会から「障がい者のカヌー体験会」開催の協力依頼を受け、カヌー体験会共催団体とともに開催に協力した。 ○草刈、刈込等の植物管理は、引き続き県基準以上の頻度で実施し、年間を通して美観の維持に努めた。 ○カラスによる来園者への被害（食物の横取り、産卵期での来園者威嚇攻撃）防止対策として、日々のゴミ回収、餌付者への注意喚起、産卵期の糞の除去、巣作りの可能性の高い密植の除去等を実施。							
	《人に優しい公園づくり》 ○障がい者が積極的に利用できる機会づくり ○安全で快適な利用環境の提供（施設管理の徹底、植物管理水準のアップ、利用指導） ○カラス等の被害防止対策	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○樹木の剪定刈込やヤシ類の枯葉除去、草花による花壇づくりを継続し、花と緑による公園景観づくりに取り組んでいる。 ○ワシントンヤシについては、県の管理基準以上に年2回除去を実施し、枯葉による景観悪化の軽減と強風時の落下による事故防止に努めている。							
	《海浜の自然環境の保全と景観づくり》 ○海岸砂防林と一体となるクロマツ林やヤシ類の保全 ○花と緑による公園景観づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○芝生広場及び周辺は県の管理水準以上の芝刈りや刈込などこまめな植物管理を行い、通年を通して公園の美観維持に努めている。 ○（新）しょうなんの森と交通公園の改修工事で新たに整備された芝生の丘の芝刈りや草取りなどを実施し、芝生の育成管理を行った。 ○園内の主要樹木である松は、枯れ枝や支障枝の除去を行うとともに、仕立物の松は、毎年、みどり摘み等の手入れを行い、樹形を維持。 ○芝生広場等に被害する外来種メリケンソウは、芝の張替え、天然除草剤（農薬ではない）、人力草取りを実施し、利用者の安全確保に努めた。 ○水仙ガーデンの品種を増やすとともに、草取りをこまめに実施し、開花期間中のガーデンの美観向上を図った。							
3 本公園における特性と課題を踏まえた維持管理の考え方											補足資料				
快適な利用環境と公園景観づくり	公園美観の向上、利用形態に対応した管理	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○花による魅力づくりの今年度の取り組み ・水仙ガーデンの品種を増やし、ムスカリも含め69品種とした。 ・引き続き、神奈川県シルバー人材センター連合会主催の「緑樹講習会」の花壇管理実習場所として北口園路沿いの花壇を提供。 ・交通公園は古いワラワロボット撤去整理するとともに、新たにトピアリー花壇造成を実施。 ・中央園路沿いの花壇は、今年度は日本ガーデニングデザイン専門学校の実習を兼ね、ひまわりと菜の花花壇とした。							●補足資料（水仙ガーデン案内図）
	花による魅力づくり	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○屋外トイレは定期清掃のほか、悪戯によるトイレ破損や便器詰まり、トイレトーパー不足には即対応している。 ○県に要望していた屋外トイレの洋式便器化については、今年度、2箇所の屋外トイレの和式便器が一部洋式便器に交換された。 ○特に子供の利用の多い交通公園及び展示館内トイレは、県の基準以上に毎日清掃を実施し快適なトイレ環境の提供に努めている。 ○イベント時のトイレの清潔さを極力確保するため、清掃員の作業日程を調整し、イベント中の屋外トイレの汚れ状況に応じて清掃やトイレトーパーを補充。 ○犬の糞は、夜間、早朝の犬の散歩者（常習者と思われる）が放置することが多いため、来園者が少ない朝のゴミ拾い時に除去。							
	清潔な施設・空間の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施								

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：計堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容			実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考		
区分	提案項目	提案の具体化方針 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26					
	多様な施設の 機能維持と安全管理	施設、設備の安全確保	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○日常巡視等により、破損箇所や落書きの発見と早期修繕に努めた。また、違った目で点検するため、年1回、本部職員と他公園の職員も含めた施設一斉点検を実施。点検結果は公園での対応箇所と県への改善要望箇所に分類し県に報告と改善要望を行い、双方協力して施設保全を回っている。 ○今年度の県による放射線量測定調査の結果、特に問題となる値ではなかった。測定結果は園内掲示板に提示。 ○遊具は毎朝のゴミ拾い兼パトロール時に状態を確認。特に砂場は、毎朝、危険物やゴミを除去後、レーキをかり不陸整正を実施。 ○遊具定期点検の結果、不具合のある遊具は使用中止措置を講じ、修繕（又は撤去）を行い、安全確保に努めた。	●補足資料 (平成26年度 放射線量測定 調査資料)参照		
		水辺空間の安全確保	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○サザン池等の水面及び水中の危険物やゴミは毎朝の巡視時に除去。 ○自然池護岸石の表込部の陥没が見受けられるため、抜本的改修を県に要望中。発見した陥没箇所は土砂充填を行い、事故の未然防止を図っている。また、自然池内の繁殖力旺盛なオオアサモ(外来種)は定期的に除去。			
		乗物の安全管理	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○交通公園の貸出自転車のうち、年数の経過した自転車を更新(県購入)。 ○スカイサイクルは始業前にスタッフが試乗し、レール状態を確認。ドアは2重の安全対策を講じている。今年度、県によりオーバーホールが実施された。 ○貸出自転車は、始業前の目視点検と利用者から回収する際に状態を確認。 ○交通展示館のメイン施設であるスーパーライダーは老朽化し危険なため、23年6月から運転を停止中。(県に撤去要望中)			
	海浜環境の保全	松の保全	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	実施予定	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○園内の松は、その樹形目的に応じて、自然樹形型と仕立て型の剪定を実施 ○外周松林については、昨年度が、隣接団地等への影響緩和のため、樹高抑制を目的とした剪定、間伐を実施。 ○台風や強風後は、園内及び外周市道の松葉や落下危険木の除去を行い、公園内外の安全確保に努めた。なお、発生した松葉の一部はチップ化しマルチング材として再利用を図った。			
		しょうなんの森の樹林育成	一部実施	一部実施	一部実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○しょうなんの森の枯損木等の除去、間伐は順次実施。 ○(新)松林の一部区域が(津波避難対策の一環として)芝生の丘に改修されたため、芝の育成管理を新たに実施した。			
		海浜植物の保全育成	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○海浜植物の保護育成活動している「湘南みちくさクラブ」と協働してハマボウフウ等を公園苗圃で育成中。		
海浜環境の保全	貴重植物の保護	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○「神奈川県植物誌調査会藤沢グループ」の個体数確認調査に立ち会い、ハマカキランの生育数と生育箇所の変化を把握。また、生息区域はロープで立ち入り禁止としている。 ○ハマカキランの生育区域は作業スタッフに周知し、草刈時期は同グループと調整し実施中。			
	効率的、効果的な維持管理	効率的・効果的な取組み ①委託業務の集約発注による経費削減 ②繁忙期や閑散期に対応した柔軟な人員配置 ③リース機器や物品購入の集約発注等	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○植物管理は、日本ガーデンデザイン専門学校、藤沢市緑化事業組合、直管作業班の3者それぞれの持ち味を活かしたコラボ体制で継続中。緑の美観向上と経費節減や作業スタッフの技術スキル向上にも繋がっている。 ○グラウンド管理は、作業車を使った整地器具により、作業時間の短縮を図っている。 ○花壇用草花は、協会本部で集約し花苗を一括生産依頼。また、播種による植付を増やし経費節減に努めた。 ○トイレトベーパー、石灰、コピー用紙等の物品購入にあたっては、本部集約発注を行い、経費節減に努めている。		
	管理マニュアル整備による取組み	①管理マニュアルの作成、確認と検証を行い改善に向けた取組みを通して管理水準を向上 ②管理点検結果は、公園管理データベースシステムを用い管理情報の共有化と履歴の分析に基づいた維持管理計画の策定や計画的な点検を実施	一部実施	一部実施	一部実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○今年度は、協会本部作成の共通的な公園管理運営基本マニュアルを当公園型にアレンジして整備し、スタッフへの周知と日々の業務に反映した。		
5 執行体制の内容											補足資料		
	本部と現地の役割分担	本部に統括管理部門を、現地に公園管理事務所を置き、方針決定や総務、会計及び業務執行並びに県や関係機関等との重要事項は、現地と本部が連携して行う	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○公園事務所と本部が連携を回り、日常の連絡調整、毎月の園長会議、課題調整会議等により、適切な管理運営を実施。 ○本部担当職員が定期的に公園で打合せを実施し、課題がある場合は本部に持ち帰り調整している。 ○PDCAチェックシステムや一斉施設点検パトロールなど、協会全体で実施する事業も引き続き実施		
	現地の職員配置	2公園の総括責任者の園長のもと、パートナーのオーチャースタッフを含むスタッフが一体となって業務遂行	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○2公園の統括責任者としての園長のもと、パートナー企業を含むスタッフが一体となって管理運営業務を遂行中。なお、フル期間中は、パートナー企業の職員を増員して対応。 ○フルイベントについては、パートナーのオーチャースタッフと、地元企業も協賛し実施している。		
	業務の一部委託	事業計画書の「委託業務予定一覧表」に基づき、スタッフの安全面や効果性、効率性の観点から一部業務の外部委託を実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○法律等で定められた点検業務、専門技術や資格、機械機器類を要する業務、危険性の高い業務、地域活性化の観点から地元企業等に委ねることが相応しい業務等は外部委託により実施。 (別紙委託業務実績一覧表(基本協定様式2参照))	●委託業務 実績一覧表	

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容			実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考		
区分	提案項目	提案の具体化方針 (事業計画に記載されている内容を摘要にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26					
6 緊急時の体制											補足資料		
事故発生等、緊急時の対応	人命を第一優先とした迅速な行動		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇怪我人や病人を発見又は通報を受けた場合は、即、現地に駆けつけ、応急措置と2次被害防止措置を講じるとともに、状況に応じて救急車を要請した。 〇緊急時に速やかに対処できるよう、新規職員及び専門員以上は救命講習会を受講させている。			
	事件事故等の履歴管理		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇本部及び公園事務所において、事件、事故、災害履歴はファイルメーカーソフトにより履歴管理中。集積された各公園の履歴は、本部から各公園に情報提供を行い、事故の未然防止を図っている。			
	・大雨、暴風等災害が予想される場合は、公園協会災害対策 指針に基づいた警戒配備 ・大雨、暴風等災害が発生した場合は、現場へ急行し、被害者 救護、二時災害防止措置などの作業を実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇台風、集中豪雨、大雪などが想定された場合、又は発生した際は、当協会の災害対策指針に基づき配備態勢をとり対応した。 〇台風等で一部の倒木、枝折れ、大量の松葉等が散乱堆積したが、速やかに復旧を実施。 〇これ以外の気象災害による大きな被害発生は無し。		
	大地震が発生した場合は、公園協会災害対策指針に基づき関係各所の指示のもと、災害対策活動を実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇地震発生の際は、協会の災害対策指針に基づき発生直後に対応している。今年度は県域における大規模な地震発生はなし。		
災害時に備えた日常対応	災害に関する情報は朝礼やミーティングを通じて日常より情報を共有化		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇異常気象が想定される場合は、朝礼時パソコンを活用した業務連絡表を用い、対処事項等を伝達し、情報を共有化している。			
	管理事務所内へのAEDの常備		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇管理事務所及び交通展示館に各1台配備中。(子供用の電極パッドも常備) 〇いざというとき、使用不可にならないよう、毎日、バッテリーの充電状況を点検。 〇プール開催期間中は管理事務所を随のプールのスタッフルームに設置。また、公園まつりなどイベント開催時はイベント会場に設置。 〇(新) トランシーバー(8台)を導入し、災害時に備えるとともに、日常業務で活用 〇(新) 緊急地震速報対応ラジオ及び災害発生後の通信困難な状態に備え衛星電話を導入。 〇(新) 防災用備蓄倉庫を設置 〇災害に備え、協会独自で災害用備蓄用品等を備蓄中(非常用の「これだけセット」、災害用トイレ用品等)			
	防災訓練、救急講習の年1回以上の実施		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇(新) 勤務時間外に大規模地震が発生したとの想定で、参集に要する時間の確認訓練と衛星電話を使用した初動連絡訓練を実施 〇県と相模湾沿岸10市町合同の津波避難訓練に併せて公園でも訓練を予定していたが、台風8等の影響により訓練自体が中止となり公園での訓練も中止した。 〇森沢市主催の「津波避難訓練」は、訓練時間が子供駅伝大会のレース中と重複したため、今回は交通公園利用者を対象とした津波避難訓練を実施。 〇スカイサイクル利用者救出訓練は、昨年よりも回数を増やし、原則、毎月1回実施とした。 〇緊急時の迅速な対応を行うため、上級救命講習会に新規採用者など未受講者を受講させた。 〇消防署職員との連携のもと、職員を対象とした消防訓練を実施。			
	防災設備の定期稼働点検		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇日常業務の中で、井戸ポンプの稼働点検を実施			
7 人材の育成計画											補足資料		
公園管理運営に携わる職員の資質向上についての方針	技術力と機軸性のあるマルチスタッフの育成		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇協会全体として職員の資質向上を図るため、研修プログラムを5年間の方針に基づき適宜実施するとともに、公園管理運営に係る外部研修及び各種資格試験に積極的に参加させている。			
	外部評価員による職員教育と自己評価による資質向上		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇今年度のグリーンサポート事業は、主に樹木を専門とする特別指導員が、必要に応じて樹木診断や技術指導を実施。 〇協会のPDCAチェックシステムにより、半期ごとにPDCAチェック会議を行い、職員間で事業計画の確認・実施・履行確認を行った。その中から改善点を見出し、改善目標の設定と改善への取り組みを行い、意識改革と資質向上、管理水準の維持向上に努めた。			
	新たな研修プログラムの導入		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇今年度の新規研修プログラムとして、竹細工など工作教室指導者を養成する研修を行った。 〇新規採用者研修のための公園管理運営基本マニュアルと安全衛生教育プログラムを協会全体として整備し、各園に周知した。			
職員の資質向上についての具体的研修計画(本部主催)	接遇研修		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇毎日の朝礼等により、公園行事等の利用確認、作業の安全確認、伝達事項など園内情報の共有を行うとともに、挨拶唱和を実施。 〇コンシェルジュリーダーを配置し、より気持ちの良い接遇の日常化を目指した。 〇協会独自の接遇、苦情対応マニュアルを作成し職員への周知を図った。			
	事務処理研修		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇确实で迅速な事務処理を実施するため、協会全体として事務処理研修、担当者会議(副園長会議、担当者会議等)を行った。			
	安全管理研修	個人情報流出防止対策として、一斉送信用のメールソフトを導入し、周知徹底を図った。		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇個人情報流出防止対策として、一斉送信用のメールソフトを導入し、周知徹底を図った。		
		協会全体として、専門員については3年に1回、上級救命講習会を受講することとし、応急措置、AED取扱い方法等を研修している。		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇協会全体として、専門員については3年に1回、上級救命講習会を受講することとし、応急措置、AED取扱い方法等を研修している。		
		遊具での事故を未然に防ぐため、公園管理主任を対象に(社)日本公園緑地協会等が主催する「遊具の日常点検講習会」を受講。併せて受講者をリーダーとして、パート職員にOJTを実施した。		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇遊具での事故を未然に防ぐため、公園管理主任を対象に(社)日本公園緑地協会等が主催する「遊具の日常点検講習会」を受講。併せて受講者をリーダーとして、パート職員にOJTを実施した。		
	植物管理研修		一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	〇外部機関による刈払機、チェーンソー、丸のこ等の安全衛生教育、特別教育に新規採用の作業スタッフを受講させた。 〇協会全体として、全3回の樹木剪定研修を実施したほか、公園独自で植物管理実務講習会を実施。 〇神奈川県農業技術センター主催の防除関係講習会を受講させた。			

●補足資料  
(平成26職員  
研修実績表)  
参照

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容			実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26				
	職員の資質向上についての 具体的研修計画 (本部主催)	公園マネージメント研修	一部実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○(一財)公園財団や(一社)日本公園緑地協会主催の講習会、全国公園協会協議会に職員を参加させ、情報の共有及び各公園への伝達により、効果的効率的な公園の運営管理を実施した。</p> <p>○協会全体として、各種研究発表会に参加し、公園管理運営に有用な資料は各園に周知し、知識技術等の共有化を図った。</p> <p>○公園の利用促進を図るため、利用促進担当者会議を実施し、相互の情報交換と意識共有を図った。</p> <p>○工作や日本文化等に関する豊富な知識を持つ本部職員が、公園スタッフを適宜指導。</p>		
		その他講習会等への参加	一部実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施			
利用促進研修		一部実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施			
	職員の資質向上についての具体的研修 計画 (本部主催)	公園独自研修	一部実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○(新)ベテラン作業スタッフ数名が順次、雇用年齢期限を迎え退職し、4月から新人が増えたことから、OJTによる技術継承のほか、霞沢緑化事業組合の職人を講師とした植物管理実務講習会(樹木剪定、生理制作、作業器具の安全管理等)を春秋2回開催し、新人スタッフの技能向上に努めた。</p> <p>○プール開催時にプールスタッフに対し、救助訓練、応急手当やAEDの操作等の研修を実施。</p> <p>○交通公園の新規採用スタッフを対象に、交通安全協会自転車安全教育指導委員会主催の「自転車安全教育指導員講習会」を受講させた。</p> <p>○協会及びオーチェスタッフに、昨年引き続き、日本「プールの安全管理のための管理者責任講習会」を受講させた。</p>		
9 公園の安全管理											補足資料	
	園内施設全般の安全管理	日常巡視パトロールを毎日実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○毎日、朝礼前にスタッフ全員でゴミ拾いを兼ねた園内巡視、夜間と早朝は、警備員による巡視を実施。破損箇所や危険物の発見除去に努めた。</p>		
		施設点検パトロールを月1回実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○毎日、園内パトロール。また、他県等での事故通知があった場合は、類似施設の臨時点検を実施。</p> <p>○協会全体として、年1回、本部職員と他公園職員も加わった第三者定期目録で点検する施設一斉点検(12月)を実施。</p>		
		重点箇所点検を随時実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○大雨暴風等の異常気象の前後及び地震発生後は、重点点検箇所を主体に点検清掃を実施。</p> <p>○年末年始前及び6月は臨時点検を実施し、不具合箇所、危険箇所の発見と措置を講じ、期間中の事故防止を図った。</p>		
		遊具安全点検をスタッフにより週1回実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○毎朝の巡視時に遊具の目視点検と砂場やブランコ座面下及び滑り台着地部の窪地の不陸を整理、また遊具周辺の危険物を除去し安全確保に努めている。</p> <p>○毎月末に管理主任が遊具ごとのチェックリストに基づき点検。点検結果と修理結果は履歴管理している。</p>		
		遊具定期点検を専門業者により年1回実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○遊具の定期点検業務は遊具メーカー業者に年1回委託し実施。</p> <p>○他公園で遊具事故があった場合は、同様の遊具の臨時点検を実施。</p>		
		各施設の法定点検を施設毎に実施(直営または業者)	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○県管理基準書記載の法定点検を専門業者により実施。</p> <p>○県土木事務所により、スカイサイクルのオーバーホールが実施された。</p>		
		維持管理マニュアルを整理	一部実施	一部実施	一部実施	実施予定	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○協会本部作成の共通的な公園管理運営基本マニュアルを当公園型にアレンジし、新規採用職員の研修に使用。</p> <p>○維持管理マニュアルは、必要に応じて見直し。</p>		
		点検と連動した速やかな施設修繕の実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○日常巡視や施設点検の結果、不具合箇所を発見又は発生した場合は、速やかに応急措置や修繕を実施するとともに、経費が嵩む事項については、県土木事務所に要望した。</p>		
		修繕結果の履歴蓄積	一部実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○委託発注した修繕業務の履歴を作成。</p>		
		施設賠償責任保険への加入	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	<p>○協会本部において施設賠償責任保険に加入し不測の事態に備えた。</p>		

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：計堂海浜公園

第10号様式

区分	提案項目	事業計画書の内容 提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を摘要にまとめて記入)	実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
			H21	H22	H23	H24	H25	H26				
利用者及び作業スタッフの安全確保		作業スタッフの労働安全衛生等の関係法令遵守 OJTによる安全意識の向上	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○スタッフミーティングを通じ安全管理に関わる勉強会を実施 ○公園主任により作業前の安全確認を励行し、労働上の事故防止に努めた。 ○(新)公園独自の植物管理実務講習会の中で、新人スタッフに対し脚立や刈払い機操作など安全教育を実施。 ○雇用中の聴覚障がい者は、管理主任の元で安全に配慮し管理作業に従事。		
		作業スタッフの安全管理として、高所作業等は委託化	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○高木剪定など高所作業の業務は鹿児島市緑化事業組合など専門業者に委託。		
		委託業者への安全管理指導、監督の徹底	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○園内通行車両は、県土木発注の施工業者の車両も含め、事務所に立ち寄り、園内許可証を1台ごとに発行。注意事項を遵守させ、利用者の安全を確保。		
		施設の正しい利用方法の情報提供	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○日々の巡回や通報等により犬の放し飼いや、危険行為者に注意喚起。必要に応じて注意看板を設置 ○グランド利用申し込み方法、注意事項を明記した案内を記入場所に張り周知。また、毎年、利用団体登録更新の際、注意事項等を周知するとともに、課題が生じた場合は、毎月の抽選日に事例を挙げ注意喚起を行っている。		
ボランティア活動における安全確保		多客時は機械を使用した草刈り作業は抑制	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○土日祝日の機械作業は思わぬ事故を招く恐れがあるため、緊急時以外は行わないこととしている。 ○刈払機は石が取れない飛散防止型を使用し利用者やスタッフ自身の安全確保を図っている。		
		ボランティア活動の行動内容の把握及び連絡体制の明確化	未実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○海浜花の会など園内で活動しているボランティア団体や日本ガーデン専門学校と作業調整を行うとともに、活動内容は毎月報告を受け把握。		
		ボランティアを対象とした安全確保の研修	計画通り 実施	-	-	-	-	-	-	○当協会本部事業としてNPO法人GIPと協働し「グリーンエンジョイ(花壇ボランティア団体に他公園等の先進事例を学んでもらうための視察及びボランティア交流会)」に当公園ボランティア団体も参加。 ○協力団体の安全確保のため、保険に加入して安心してボランティアができるよう配慮した。		●補足資料 (グリーンエンジョイ)
防犯対策		死角となる場所を極力つくらないようにする 景観面に配慮し対策を行う	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○昨年度に引き続き、外周松林の樹高抑制と併せて、密植区域の間伐を実施し見通しを確保。 ○駐車場への防犯カメラ設置後は車上荒らしが激減し、抑止力の効果が現れている。 ○プールの防犯対策として県が設置した貴重品ロッカーについては、まだ不足しているため、県に要望し増設してもらった。		
		広場、建物周囲等を常に清潔に保ち、青少年のたまり場をつくらないようにする	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○深夜のたまり場となるしょうなんの表展望台は夜間閉鎖を継続中。		
		地域の防犯会議への出席、警察署、消防署等との連絡を密にし 地域と連携した防犯体制	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○プール期間中の置き引き、深夜のバイク乗り入れ、悪戯への対応として、警察官に不定期に巡回してもらっている。また、プール期間外も不定期に警察に園内巡回を行ってもらっている。		
		《夜間・年末年始の体制》 ○勤務時間外の防犯対策は警備員により実施 公園管理事務所を警備員の結末所とする ○交通展示館は機械警備による警備体制とする ○園内巡回警備は、警備員2名により巡回ルートに基づき 定期または不定期に実施 ○機械警備の交通展示館は巡回中に異常の有無を確認 ○緊急時の連絡体制の徹底 ○年末年始は警備員2名による昼夜定期的巡回を実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○夜間は、毎日、警備員2名を配置。管理事務所を夜間の警備員詰所とし、巡回ルートに基づき定期又は不定期に実施。 ○交通展示館は機械警備による警備体制とし、警備員の巡回中に異常の有無を確認している。 ○年末年始期間は、警備員2名による体制とし、昼夜、定期的に園内パトロールを実施。 ○異常があった場合は緊急連絡網により職員に連絡する態勢を敷いている。		
<b>10 利用者への対応</b>										<b>補足資料</b>		
接客対応及びその研修等		公園及び周辺情報の取得	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○イベント日程を決定するに当たっては、運営協議会メンバーや市民センターの協力を得て、地域行事や近隣の祭り等の情報収集に努め、極力重ならないよう配慮。 ○当公園以外の問合せにも対応できるよう、周辺の市立公園など地域の公園情報、地域行事、学校行事情報の収集に努めている。		
		特別指導員による接客研修と接客対応評価と指導	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○協会本部により接客研修を実施。		
苦情処理の対応及びその研修等		苦情・要望の記録と土木事務所への報告	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○県にも関わる苦情要望については、県土木事務所とも連絡を密にし回答を行っている。 ○事務所で受けた苦情要望は、年度毎、月毎に履歴管理するとともに、本部で集積し管理。		
		公園協会全体で、各公園の事例を共有するシステムの構築	未実施	未実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○公園の苦情要望、事故のデータは本部で履歴管理し、各公園に還元。特筆すべき問題については会議等で対応を周知している。		
	苦情対応のロールプレイング研修の実施や他公園職員との合同勉強会の開催	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○協会全体として、接客及び苦情対応マニュアルを整備し各園に周知。		

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容			実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考		
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を摘要にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26					
	利用者への利用指導等	パンフやウェブサイトによる親切丁寧な有料施設等の受付案内	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○管理事務所や交通公園での接客にあたっては、親切で丁寧な対応に心がけた。また、新規採用スタッフは接客研修などにより接客向上に努めた。 ○プール、交通展示館等の有料施設の利用案内はパンフや公園HPにて情報提供。 ○異常気象等で施設利用を中止した場合は、公園HPや駐車場入口で周知するとともに、施設の予約者へは電話連絡等で周知案内。 ○遠足等の団体利用の受付調整にあたっては、電話のみの受付はトラブルの原因となるため、申込書による受付方式を継続中。申込用紙については公園HPからダウンロードできるように、HPを改善し、手続きの簡略化を図っている。	/			
		季節の情報等の広報PR	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○公園協会発行の「かながわパークナビ」を上期、下期の2回発行し、各公園の花やイベント等の情報を提供 ○ラジオ番組に出演し、イベント予定など話題に織り交ぜ公園のPRに努めた。				
		関係法令等の内部研修や他公園との情報交換、勉強会等による事例と情報共有化	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○プール開場に向け、関係職員にプールの概要、利用上の注意事項、利用者からの質問対応等を記載したマニュアルを配布し、職員の情報共有を図るとともに、苦情要望履歴は、本部に集積。 ○首都圏公園緑地団体主催の公園事例発表会に参加し他公園の事例を収集し、管理運営に反映				
	利用者ニーズの把握と反映	日々のコミュニケーションや電話、ご意見箱、メールアンケート等による意見の把握と反映改善	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施				○常設アンケートを設置するとともに、公園HPでの問合せメール受付や日々の来園者とのコミュニケーション、利用満足度調査等によりニーズを把握。 ○プールサイドの日陰け不足のニーズに対し、プール最盛期に今年も公園所有のテントを設置。 ○夏季の道路渋滞による苦情対応として、今季プール期間の渋滞対策は、多目的グラウンドの臨時駐車場使用日数を増やす一方、道路上での入庫待ちをさせない方法で試行。渋滞に関する苦情は大幅減 ○苦情の多かった高木化した外周松林については25年度から樹高抑制を継続。(苦情は激減)
		外部評価による評価と改善	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施				○今年度は外部評価員による評価は受けなかったが、本部職員が担当公園や担当以外の公園に出向き、管理運営状況をチェックして不備があれば改善を促すなどの処置を行った。 ○県のモニタリング調査での指摘事項については、早期対応するとともに、県土木事務所とも調整している。
11 利用促進方策										補足資料			
既存イベントの継続実施	季節ごとに開催する公園まつりや年間通しての様々なイベントを継続・充実して実施	計画通り実施	計画通り実施	一部実施 大震災や節電対策のため一部自粛	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	地域団体等と協働して下記のイベントを実施 ○四季ごとの大型イベント ・春の公園まつり：2日間開催 ・夏・秋の公園まつり「辻の盆」：1日間開催(初日は雨天中止) ・秋の公園まつり 1日間開催(翌日は持込イベントに割当て) ・イルミネーション：昨年に引き続き、クリスマスシーズン期間に短縮(4日間開催(初日は雨天中止)。キャンドル個数を1200個に増やすとともに、光の作家と連携した花のオブジェは区域を拡大し充実を図った。 ○季節の風物詩の演出として、花工房と交通公園においてクリスマスと正月の飾付けを継続。	/			
	《プレオープンイベント》 ジャンボプールオープンの広報を兼ねたプレイベントの開催	計画通り実施	計画通り実施	節電対策のため中止	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○地域住民へのサービスとプールの広報及び救助訓練デモを兼ね実施しているが、今年度は、悪天候の影響で僅か約139人参加となった。				
	《ユニバーサルカヌーイベント》 子ども、高齢者、障がいのある者等、誰もが参加できるユニバーサルカヌー体験会	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○引き続き、サザン池を活用し春季と秋季の毎週日曜日に開催中。参加者は、開始以来、延べ3万人となった。また、今年度もプール終了後の9月に藤沢市カヌー協会と協働してカヌー教室を開催した。 ○茅ヶ崎市社会福祉協議会からの障がい者を対象としたカヌー体験会開催の協力依頼を受け、同カヌー運営団体がカヌー体験会開催に協力し、障がい者の公園利用の機会拡大に努めた。				
	《プール利用料金の見直し》	計画通り実施	計画通り実施	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○26年4月の消費税率引上げに伴い、料金を改定した。 ○料金改定にあわせて、プール回数券の枚数、金額を見直した結果、大幅に購入者が増え、見直し効果が大きかった。 ○新聞購読者を対象とした招待券については読売、朝日のほかに新たに毎日産経を加わえた。				
	プールの利用促進(22年度新規) プールのアクティビティの充実と情報発信	/	一部実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○プールオープンに先駆け、昨年からの地域の実行委員会と共催で始めた「水辺の安全を一緒に学ぼう」イベントは、前回のアンケート結果を踏まえ、開催時間を延長するなど内容を見直し開催。水辺の安全の啓発に加えてプール認知度の向上にも貢献した。 ○引き続き、ウォーターバルーン体験会、プール内でのアクアビクス教室、アロハタイムインジャンボプールイベント(地域のフラダンスグループの発表の場の提供)を開催し、プール利用促進を図った。				
芝生広場を活用した新たな取り組み	《風作りと風揚げ大会》 正月の風物詩である風揚げを「湘南風の会」の協力を得て実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○湘南風の会の協力を得て今年も1月に実施。風づくりと風揚げを行った。 ○湘南風の会の協力により、端午の節句に風揚げと風の歴史や種類の解説板と様々な風を展示。	/			
	芝生広場に舞台を設置し、地域団体やグループが自由に発表できる場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○公園まつりや持込イベントのメイン会場は舞台中心に置き、音楽、踊りなど地域団体の発表も兼ねた多様な催しを実施し、フルに活用中。 ○通常時は地域の方々を対象とした「こうえん体操(毎週水曜)」の場としても有効活用中。				

●11号様式参照

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

区分	提案項目	事業計画書の内容 提案の具体化策 (事業計画に記載されている内容を摘要にまとめて記入)	実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
			H21	H22	H23	H24	H25	H26				
公園を活用した 新たな取り組み	《湘南ツーリングの開催》 公園を基地として、湘南モデルの自転車による 海岸沿いの自転車道を活用するツーリングの開催		未実施	調整中	計画取止 市主導の 事業協力 に切替え	-	-	-	〇地元藤沢市が推進している官学民協働による「自転車による短距離移動型交通システム」の 社会実験に本公園も実験ステーションの1つとして協力していたが、公園使用した実験は終 了。			
	かいひんFRIENDS事業の試行（H25年度新規）		-	-	-	-	計画通り 実施	計画通り 実施	〇週末利用の促進の一環として、カヌー体験会やふわふわパークに加え、昨年に続き、文化芸 術健康等をキーワードとした市民参加型の利用プログラム（かいひんFRIENDS事業）を春秋の 第2日曜日に地域の人材、団体と連携し試行した。			
	公園を活用した地域の活動団体の持込企画やイベント等 の支援「かいひんSUN-DAY事業」（22年度新規立ち上げ）			計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇今年度の「かいひんSUN-DAY事業」は4件実施。持ち込みイベントの実行委員の育成も兼ね、 企画から設営・撤去まで支援協力し開催。 〇公園がさらに市民発表の場として活用されるよう、秋の公園まつりにおいて、リサイクルフ リーマーケットに加え、地域のアマチュアのアーティスト連の作品展示販売をする「クリエイ ターズフェスタ湘南」を継続実施した。			
	海浜情報発信のためのライブカメラの設置（23年度新規）				調整中	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇引き続き、しょうなんの表展望台に設置したライブカメラにより海浜のライブ映像を公園HP で情報発信（平成26年度アクセス数：訪問者数12,080 ページビュー：45,938）			
交通公園を活用した 新たな取り組み	《初心者自転車教室》 子どもを対象とした初心者自転車教室及び高齢者を 対象とした安全教室の開催		計画通り 実施	未実施 大震災の ための自費	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇県警事業である「チリリンスクール」の開催場所に交通公園を提供し、地元警察や藤沢市、 交通安全協会と連携して実施。			
	《交通展示館子ども塾》 大学や交通知識を有する専門家の協力を得て、展示物及び ソフトを活用した学習塾の開催		計画通り 実施	未実施 大震災の ための自費	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇引き続き、おもちゃ作りの地域団体等の協力を得て「交通公園子ども塾」と称して、交通や 乗物をテーマにしたクラフト体験（のりものモビルづくり等）や鉄道模型の展示を春休み期 間中の週末に実施した。			
利用促進のための 広報活動	・公園HP、公園協会HPとの連携で発信 ・園内掲示板・インフォメーションボックス等の活用 ・パンフレット・チラシでのイベント情報や各種教室等のお知らせ ・駐車場の空車情報をHPとの連携で携帯サイトで発信 ・公園ニュースを1～2回/月発行し、イベント実績や花情報を提供		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇引き続き、公園HPと本部HPと連携して公園紹介や各イベント情報を発信。また、駐車場の 空車情報を公園HPと携帯サイトで発信 〇公園HPをリニューアルし、より見やすくした。 〇本部で公園情報誌「かながわパークナビ」を年2回発行し、各公園や自然公園ビジターセン ター等に配布しPRを図った。 〇園内ではインフォメーションボックスや仮設看板を設置し、ポスターやチラシを掲示し来園 者にイベント情報や各種教室等を周知。イベント等の結果は公園ニュースとして園内に掲示。 〇協会管理の自然公園、都市公園を対象とした「花とみどりのフォトコンテスト」を開催。入 選作品はカレンダーとするとともに、当公園（交通展示館）で写真展を開催し公園のPRに努め た。 〇協会マスコットキャラを公園イベントで活用し、広報活動を行った。 〇（新）江ノ電バスと連携してプール案内のポスターを案内に掲示し、プールの利用促進と洗 滞対策の1つとしてプール来場者に公共交通機関の利用を促す試みを実施。			
	《公共施設、各種団体の活用》 〇公民館・体育館等の公共施設、最寄駅に依頼しポスターを掲示 〇辻堂及び湘南地区の市民センターの協力により、自治会・町内会を 通じ公園まつり等のチラシを回覧し、地域へ告知する		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇四季ごとの公園まつりの周知は、辻堂地区市民センターの協力により、チラシを自治会・町 内会に回覧し告知。また、昨年度に引き続き、茅ヶ崎市への広報にも力を入れ、図書館や資料 館などにもポスターの掲示を依頼した。 〇今年度は戸塚、保土ヶ谷、綾瀬方面にも広報を拡大し、積極的な情報提供を図った。 〇JR辻堂駅業務委託方式となり、藤沢駅管轄となったため、藤沢駅の協力を得てイベントポ スターの掲示に協力頂いた。 〇辻堂地区自治会町内会総会にて、今年もイベント報告や今年度の予定等を説明し、地域への 周知と協力要請を行った。			
	《メディアの活用》		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇公園まつり等のイベントやプール営業にあたっては、地域情報誌等へ積極的に情報提供して いる。今年度はFM湘南に出演し、イルミネーションをPR。 〇平成26年度広報媒体件数321件 (参考) 過年度広報活用媒体件数(延べ数) H25年度：307件 H24年度：237件 H23年度：146件 H22年度：138件 H21年度：121件 H20年度：118件 H19年度：90件 H18年度：55件			
12 自主事業の運営										補足資料		
駐車場管理運営	年間有料として運営。営業時間及び夏季以外の料金の 上限もH20年度と同じに設定 臨時駐車場の増設（25年度新規）		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇消費税引上げに伴い、駐車料金を改定。改定に当たっては機械的に転嫁せず、上限設定料 金の期間を拡大するとともに、上限料金も据え置き、利用者サービスに配慮した。 〇23年7月から販売開始した駐車場利用回数券（1セット7枚綴り）を引き続き販売中。 〇夏季の道路渋滞対策として、周辺道路にガードマンを増員するとともに、多目的グラウンドを 活用した臨時駐車場は、グラウンド利用者の理解と協力を得て、昨年よりも開設日数を増やし対 応した。 〇（新）園中央道の開通により、今後、さらに夏季の道路渋滞が想定されることから、今季プ ール期間の渋滞対策は、臨時駐車場使用日数を増やしたほか、道路上での入庫待ちをさせない方 針で園道134号線に周知看板を設置するとともに、満車時は門扉を開める方式にチャレンジ し試行した。試行に当たっては、警察と道路管理者と相談して実施するとともに、昨年以上の ガードマンを増員して渋滞緩和に取り組んだ。			
売店運営	軽飲食の提供を行う。 スマイルカフェ波波波、西駐車場売店		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇年間を通じ園内2箇所の売店及び軽飲食施設を運営。また、利用満足度調査での意見を踏ま え、交通公園の春の繁忙期の週末に仮設模擬店を出店。 〇プール期間中はプールのサイドの臨時売店を増設し、販売品目を充実させプール利用者への飲 食サービス向上に努めた。			
自動販売機の設置	清涼飲料等の提供（プール管理棟、交通公園等園内）		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇プール期間は場内に飲料自動販売機を増設。また、公園最盛期の春から秋は、自動販売機の不足し ている東駐車場と西駐車場隣の2カ所に臨時自動販売機を設置しサービス向上に努めた。			
ロッカー・シャワー	・管理棟ロッカーは通年有料で運営。 ・プールロッカー・シャワーは開業期間のみ運営		計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	〇海の利用者を対象とした屋外温水シャワー（有料）施設の運営を継続。 〇プール更衣ロッカーと温水シャワーは有料で運営中。なお、プールサイドでの置き置き対策の 1つとして岸に設置してもらった貴重品ロッカーは無料で運営。 〇サーファや来園者の利便に供するため、通年を通して管理事務所ロビーにコインロッカー を設置中。（有料）			



平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容			実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考		
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26					
13 地域や関係機関との連携													
13	地域や関係機関との連携	《スポーツ・健康・福祉での協働》 藤沢市社会福祉協議会、湘南F.A.R.C、 湘南工科大学付属高校、《公財》体力づくり 指導協会、藤沢市加齢協会等との協働	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○昨年立ち上げた地域企業や元消防教官、日本初のライフガード等で構成する「絆プロジェクト 水辺の安全を一緒に学ぼう」は、昨年のアンケート結果を踏まえ、体験時間、開催時間を延長し充実を図った。 ○藤沢市カヌー協会と連携し、カヌー体験だけでは物足りなくなった子供達を対象としたカヌースクールをプール開場後のプール（流水・濾過）を活用して開催。 ○《公財》体力づくり指導協会の協力を得て、地域の高齢者を対象に介護予防を目的とした「ろうどう教室」を毎月1回（猛暑の8月を除く）開催。 ○子ども駅伝大会は、今回から各参加チームの保護者1名が走路管理ボランティアとして参加してもらう方式とし、皆でつくる参加型イベントの色彩を強めた。 ○《新》湘南ベルマーレの協力を得て、自由参加型のサッカーチャレンジプログラムを実施	○花壇管理ボランティア団体の「海浜花の会」による花の庭の花壇管理を継続中。 ○湘南海岸の海浜地の保護育成活動を行っている「湘南みちくさクラブ」の海浜植物保護育成活動に協力中。		
		《海浜環境の保全と花づくりでの協働》 湘南みちくさクラブ、海浜花の会等	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○イベントは、地域参加に配慮した企画立案に努め、学校、幼稚園などの教育機関や、児童館、地域活動団体等の協力を得て実施。			
		《公園まつりなどイベントでの協働》 藤沢商工会議所、湘南工科大学、 辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会 民謡同好会、湘南風の会、地元中学校、J.Aさがみ、公民館、 レディオ湘南等	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施		○公園運営協議会は今年度2回開催し、事業計画や実績報告のほか、公園管理に関する課題等の意見交換も行った。 ○地域と連携した公園まつりや地元団体の持ち込みイベントを通して、地域のコミュニケーション形成や地域活性化への貢献に努めている。	
13	地域への貢献	地域の活性化・コミュニティの形成 (公園運営協議会の設置等も含む)	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○公園運営協議会は今年度2回開催し、事業計画や実績報告のほか、公園管理に関する課題等の意見交換も行った。 ○地域と連携した公園まつりや地元団体の持ち込みイベントを通して、地域のコミュニケーション形成や地域活性化への貢献に努めている。			
		身障者の自立支援と活動のサポート	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○地域作業所（木曜クラブ）の障害者の自立支援を兼ね、ゴミ清掃委託を継続。 ○ユニバーサルカヌー体験会に参加した「サザンクラブ（障害者家族がメンバー）」にテント、テーブル、椅子、飲料水を提供。公園をフィールドとした家族同士のコミュニケーションづくりに協力。			
		生きがいの機会や場の提供	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○引き続き、神奈川県シルバー人材センター連合会主催の「緑樹管理講習会」の実習場所（樹木剪定、生垣、花壇づくり等）として協力。 ○藤沢ウォーキング協会の「歩け歩けシーサイドコース」のチェックポイントの場所を提供。 ○交通公園での「楽しいクラフト」は、子どもたちと触れ合う機会づくりも兼ね、近隣の高齢者にボランティアになって頂くとともに、鶴沼手作りおもちゃの会の協力を得て開催。 ○引き続き、すこやか広場健康遊具を使用した、介護予防のための「ろうどう教室」をインストラクターの指導の下、8月の暑い月を除き毎月1回開催。		
		学校教育への協力	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	計画通り 実施	○県の緊急人材育成事業や学校教育に協力するため、引き続き、日本ガーデンデザイン専門学校（藤沢市内）の実習場所を提供。公園管理にとっても管理水準の向上に繋がっている。 ○湘南工科大学の社会貢献活動カリキュラムの受け入れに毎年協力しているが、今年度は当公園での活動学生の希望者はなかった。 ○《新》当協会の協会設立40周年記念事業の1つとして、希望のあった近隣小中学校に花苗を配布。		

平成26年度 指定管理者管理運営実施状況表

公園名：辻堂海浜公園

第10号様式

事業計画書の内容			実施計画						平成26年度の実施状況	今後の取り組み予定	備考	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H21	H22	H23	H24	H25	H26				
	地域への貢献	子どもの学びの場や運動の場の提供	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○クマゼミ調査研究会と連携し、子供達を対象にセミの生態とクマゼミの羽化観察会(夜間)を開催。			
関係機関との連携	《教育機関等との連携》 幼稚園、小中高等学校、大学等		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○引き続き、下記の教育機関と連携。 ・日本造園専門学校と協働した維持管理を継続中。また、花壇の草花植付にも協力頂いた。 ・養護学校のプール利用の受け入れ。 ・辻の益では、同専門学校が学生会場整理に協力。 ・湘南工科大学の協力により、メリケンタンコンソウの除去に協力頂いた。(学生50名) ・湘南工科大学付属高等学校ダンス部と連携。(辻の益での踊りのリード役) ・関東学院大学六浦中学・高等学校の鉄道研究部の協力により交通公園子ども塾の実施。 ・イルミネーション点灯式では、地域の幼稚園がマーチングバンドで出演予定であったが雨天で中止。			
	《福祉団体、協議会との連携》 福祉関係機関等		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○障がい者の社会参加活動の一環として、公園まつりにおいて地域の福祉団体の模擬店を出店してもらっている。 ○藤沢市社会福祉協議会と連携し、公園まつりで年寄り福祉体験コーナーを設け、イベント参加者に体験頂いた。 ○茅ヶ崎市社会福祉協議会から障がい者のカヌー体験会を行いたいとの要望を受け、ユニバーサルカヌー体験会の運営メンバーとともに開催に協力。			
	《自治体との連携》 県、市、市民センター等との連携		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	ファミリーウエルネスデーイベント	計画通り実施	計画通り実施	○藤沢市社市民センターの協力により、毎年、辻堂地区の自治会町内会連合会総会において、公園のイベント予定や結果等の情報提供等を実施。 ○公園まつりなど大型イベントの広報にあたっては、市民センターの協力を得て各町内会にチラシ回覧により市民に周知。 ○辻堂市民センターとのイベント時の相互資機材の貸し借り等の連携。 ○藤沢市主催の津波避難訓練(2月実施)に参加、今回は交通公園の避難訓練を実施。 ○交通公園において、神奈川県警の事業「チリリンスクール」を県警本部、藤沢警察署及び交通安全協会等と協働して開催。 ○(新)交通公園の小田急電車を使った、藤沢市危機管理室、消防署、警察署の合同の国民保護訓練(テロ対策訓練)に協力。 ○(新)辻堂地区交通安全対策協議会主催(辻堂市民センターが事務局)の交通安全イベント(スタントマンによる交通事故の演技)に協力。 ○(新)新型インフルエンザ発生を想定した国→県→関係機関等への情報伝達訓練に参加 ○(新)県の「かながわ未病宣言」の一環として、県(健康福祉課)等が主催するファミリーウエルネスデーイベントに協力 ○藤沢市辻堂地区地域包括支援センターの「こうえん体操(毎週水曜日、自由参加)」事業に協力し、資機材を提供。			
	《商工会議所・観光協会との連携》 地域活性化に繋がるイベント等について連携協働		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○公園運営協議会メンバーに商工会議所、観光協会に加わってもらい、イベント等の機材の相互貸出や後援協力で連携。 ○藤沢市観光協会が窓口となっているフィルムコミッションからの公園使用相談に協力。			
	《周辺公園との連携》		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○当協会管理の県立都市公園において、維持管理やイベント時の機材及び各公園の持つ資源の相互活用を図っている。			
	《公的団体との広域的連携》 首都圏公園緑地9団体連絡協議会等		計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	計画通り実施	○首都圏公園緑地関係団体連絡協議会主催の公園管理事例発表会に参加し、公園管理に係る情報収集と職員への周知を行った。また、同協議会で発行している「公園の小さな旅」を公園で販売し首都圏の公園の利用促進に努めた。 ○かながわ海岸美化財団の海岸清掃活動や砂防林維持管理ボランティア活動に協力し公園事務所を更衣休憩場所として提供。			
14	平成26年度事業計画以外の取り組み実績											
	公園協会設立40周年記念式典及び記念事業の実施	公園管理運営に関わる県民協働(神奈川県公園協会賞)	-	-	-	-	-	-	実施	○(新)協会設立40周年記念式典において、県内での公園活動団体や緑化活動団体を対象とした「神奈川県公園協会賞」を設け、多数の応募団体の中から選考し表彰した。		補足資料
		記念植樹、花苗の配布	-	-	-	-	-	-	実施	○(新)当公園での記念事業として、交通公園に整備された芝生の丘(樹木無し)に、花木による憩いと緑陰提供を目的として、オオシマザクラなど20本を植栽し、県に寄付した。 ○また、本部事業として県内公園やみどりの活動団体、学校などを対象に希望する団体に花苗を配布。当公園では地域の学校や公園での活動団体に配布した。		記念植樹 資料参照
	ユニバーサルカヌー体験会活動がキッズデザイン賞を受賞		-	-	-	-	-	-	実施	○(新)公園と協働開催している同体験会運営の中核である(公社)かながわデザイン機構が「キッズデザイン賞」に応募。全国から408件の応募があり、当体験会を含む36件が表彰を受けた。大手企業の応募が多い中、地道な活動が評価され、当体験会活動は「奨励賞キッズデザイン協議会会長賞」を受賞した。		資料資料(ユニバーサルカヌー)参照
	新設された「ちびっこスライド」の管理運営		-	-	-	-	-	-	実施	○(新)交通公園改修工事により整備された「ちびっこスライド」の運営にあたっては、県では自由使用方法としていたが、無秩序な利用や危険行為による事故の危険性があるため、新たにスタッフを配置し、利用指導と事故防止に努めた。		補足資料(ちびっこスライド)参照
	アトム信号機の設置		-	-	-	-	-	-	実施	○(新)県施策の1つである「ロボット産業特区」のPRの一環として、県(産業振興課)が交通公園の歩行者信号機を「鉄腕アトム」のイラストの信号機に交換。お披露目を兼ね、県主催の「アトムを探せ」イベントを交通公園で実施。TVや新聞で報道されたことから反響が大きく、信号機を見るために来園された方が多かった。		補足資料(アトム信号機)参照
			-	-	-	-	-	-				

\*本表と併せて、各項目の実施状況のわかる具体的な資料(写真・作業一覧・新聞切抜きなど)を添付して提出して下さい。